



黒島魂

～しまごころ～

『みがきあい(キラキラ)』

『ささえあい(ニコニコ)』

『わかりあい(ワクワク)』

理不尽に打ち克つ力・・・

人間は生まれながらに理不尽を背負っている。大切なのは、なんとか理不尽な状況に打ち克って、理想の人生にできるかぎり近づこうと努力すること。その過程にこそ生きることの醍醐味というか喜びもある。

往年のドラマ「スクールウォーズ」のモデルとなった京都府立伏見工業高校が、全国大会で初優勝した時のキャプテンで、ミスターラグビーと呼ばれた平尾誠二氏の言葉です。

令和6年1月13日（土）、今シーズンの大学ラグビーの締めくくりとなる大学選手権決勝（帝京大学 VS 明治大学）は、国立競技場において、帝京大学の3連覇で幕を閉じました。その帝京大学ラグビー部をキャプテンとして率いたのが、大阪桐蔭高校出身の江良 颯君です。ネット上にあった彼のインタビュー記事で、非常に興味深い内容のものがありませんでしたので紹介させていただきます。

帝京大学は、準決勝で天理大学と対戦し、勝利したのですが、決して楽な戦いではありませんでした。開始18分で14-0とリードをしたものの、その後完全に天理大学にペースを握られ、前半を14-12で終えました。後半も天理大学の猛攻は続きますが、鉄壁のディフェンスで、必死にそれを跳ね除け、最終的に22-12で決勝に駒を進めることができたのです。

この試合の後半、素人目に見ても疑問が残るレフリングがありました。それは、タッチライン際を走っていた選手が、タッチラインを踏んでいないのに「踏んだ」と判定され、その直後に生まれたトライが取り消されたのです。このトライが認められていれば、帝京大にとってかなり楽な展開となるはずでした。そのシーンは国立競技場の大型スクリーンに映し出され、客席からはどよめきが起こったそうです。勿論それを見ている選手たちもいます。テレビでも流されましたが、明らかに踏んでいませんでした。

このことを尋ねられたキャプテンの答えです。

「レフリーさんに何を言っても、レフリーさんが正解なので、そこに対してフラストレーションをためずに自分たちのラグビーをやり続けよう1年間話してきた。皆の顔を見ても全然焦っていないです。決勝以外はTMO（テレビマッチオフィシャル＝映像判定）がないのはわかっていた。それを考えながら練習してきたので、僕自身もフラストレーションをためることなくできました。レフリーさんも、（議論を招く判定を）やろうと思ってやっているわけでは絶対ない。僕たちもそうですが、ミスというのは絶対ある。レフリーさんをリスペクトしながらゲームを運んでいくのが選手としてやるべきことです。」

さらに公式会見後、改めて個別取材に応じた際には、次のように話をしたそうです。

「僕たちのチームに学生レフリーがいます。その彼に、日頃から（実践練習で）相手寄りのレフリングをしてもらって、フラストレーションをためずに行えている。それが身になっています。レフリーが答えです。その答えにアジャストしていくのが僕たちです。」

人は理不尽な状況を迎えた場合、その要因を他者に求めたくなるものです。特にSNSの急速な普及と相まって「言ったもん勝ち」の風潮が蔓延る現代社会においてはなおさらです。しかし、この22歳の若者は、理不尽な状況を予め想定した上で、自分事として捉え、冷静に思考・判断し、準備・対応しているのです。なんとすばらしいマインドセットでしょうか。これこそが、先の平尾誠二氏の言葉にある「理不尽な状況に打ち克って、理想の人生にできるかぎり近づく」ための、有効な手立てであると考えます。

社会は理不尽なことが溢れています。従って、いずれそこに巣立つ子供たちに、課題を主体的に捉える力、状況を的確に判断する力、解決に向けた方策を試行錯誤しながら粘り強く思考する力、よりよい方策となるよう調整する力等を身につけさせる必要があります。しかし、子供が不快と感じるものを可能な限り排除し、理不尽な状況を作らないことに注力する傾向にある現代社会です。その力を身につけさせる場は、残念ながら減少傾向にあります。社会のニーズに合わせる必要がある学校も同様ですが、唯一授業は、それらの力を身につける有効な場であると断言できます。授業では、学習課題という壁を子供たちに提示することができます。子供たちはその課題に主体的に向き合い、対話活動等をとおした試行錯誤を繰り返しながら自力で解決策を創造していくのです。教師の支援は手立て等の助言程度に留まります。従って、その過程は、決して平坦なものではありません。これはまさに、社会に出れば、必ず直面する「理不尽」を乗り越える過程そのものなのです。本校においても、子供たちが、少しでも理想の人生に近づけるよう「理不尽な状況に打ち克つ」力、つまり学校教育目標にある「自ら未来を切り開く」力の育成を授業をとおして、継続的に行ってまいりますので、皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

2月の主な行事予定

月	火	水	木	金	土	日
			1 少年の日 公立高校前期選抜	2 ノー部活デー	3 ノー部活デー	4
5 クラブ活動 (3～6年)	6 ハートタイム	7 学校集会 授業参観・懇談会	8	9 ノー部活デー	10 ノー部活デー	11
12 建国記念の日	13 避難訓練 ハートタイム(後期)	14 フッ化物洗口 第3回テスト(後期)	15 第3回テスト(後期)	16 第3回テスト(後期) ノー部活デー	17 ノー部活デー	18 家庭の日 ノー部活デー
19 食育の日・徳育の日 専門委員会	20 ハートタイム	21 フッ化物洗口	22	23 天皇誕生日 ノー部活デー	24 ノー部活デー	25
26 クラブ活動 (3～6年)	27 ハートタイム	28 フッ化物洗口 後期課程説明会	29			

お披露目しました。

昨年メジャーリーグで活躍する大谷翔平選手が、全国すべての小学校にグローブを寄贈したということが、テレビのニュース等で流れていましたが、そのグローブが、令和6年1月22日(月)に本校にも届きましたので、その日の昼休み、児童生徒にお披露目をしました。

早速キャッチボール等に興じる子供たちの姿がありました。今後様々な教育活動に生かしてまいります。ご寄贈いただきました大谷選手を始めとした関係者の皆様に、心よりお礼申し上げます。

